



加古だより

加古小学校通信
令和4年10月号
No.23 (296号)

際立つ賢さ！さすが6年生 ～頑張った修学旅行～

校長 吉田 博明

<先生が何も指示をしない学校って!?!>

先週14日と15日、6年生が広島へ修学旅行に行きました。昨年度から取り組んでいる「自分たちでつくる修学旅行」。しおりに書いてあることには、教師は口を出さない。もちろん危険な時や困った時は、教師が手助けします。でも、6年生は頑張りました。広島駅での静かな移動。路面電車で席を譲る人。たくさんの一般のお客さんの中でも、立派な態度で行動できました。平和記念公園には、たくさんの学校が来ていました。他の学校は、もちろん先生が指示を出しています。先生が周りで静かに見守っているのは加古小学校だけ。自分たちだけでも何も困りません。すべてしおりに書いてあります。後は、どれだけ自分たちだけでやり遂げるんだと、本気で取り組むかどうか。今回の修学旅行に臨む6年生からは、「先生には頼らない。」という、覚悟を感じました。



添乗員さんから、切符の見方を教えてもらいます。

<違う小学校と一緒にあった時、賢さがわかる>

修学旅行中、他の小学校と一緒にいる機会がたびたびありました。養護の藤井先生が、「移動中に違う学校と一緒にあった時、その学校の子たちは、広がったりしゃべったりしていたけれど、加古小学校の6年生は、一列に並んで、しゃべらず静かに、邪魔にならないように端の方を歩いていて、賢さが際立っていました。」と話しておられました。



初めてのお好み焼きづくりに大はしゃぎ!

また添乗員さんも、「多分、他の学校の先生だと思いましたが、『どちらの学校ですか?』と聞かれ、『とても爽やかな挨拶をしてくれたので。』と話してくれました。」と教えてくださいました。校長先生として、こんなうれしいことはありません。

よく、今までの勉強の集大成が修学旅行だと言われます。今の6年生の姿を見ていると、本当にそうだなと思います。静かに移動したり、しっかり挨拶をしたり。学校で教えられてきたけれど、それを社会の場で、きちんと自分で表現できるか。それができるのが6年生なんだなと思わせてくれました。また、今回の修学旅行でも1分前集合。すべて予定通りに進めることができました。男子も女子も隔たりがなく、とても仲が良い様子を見ることもできました。お弁当を食べる時、班別で行動する時、仲がいい姿は美しいなど、そう思わせてくれました。班長さんを始め、みんなの協力のおかげです。温かい、素敵な修学旅行をありがとう。